

京林大だより

No.56



絵：卒業生 熊走君



2年生の授業のすがた

◆林業専攻

林業専攻は林業機械を使った専門実習を行っています。

5月27日～6月4日は、林内で森林作業道を作設する実習を行いました。実習では、林内にバックホウを入れ、土を掘削したり、締め固めたりして崩れにくい作業道を作ります。途中には切り株や転石もあり、バケットをうまく使って掘り起こしたりして荒道を作っていました。

また、6月28日～7月2日は集材機を使った架線集材実習を行いました。この実習では荷掛け班、造材班、集材機班、仕分け班に分かれて、機械操作や無線機での指示出しを行いました。

このように、2年生の林業専攻はより現場作業に近い実習を行っており、秋のキャブストーン研修に向けて、現場作業のノウハウを学んでいます。



林業専攻：森林作業道作設実習



林業専攻：集材機の操作を習う学生

◆森林公共人材専攻

課題名

「ICTを活用した京丹波町の森を活かす方法」を提案してください

森林公共人材専攻の2名は、京丹波町（クライアント）から上記の課題をいただき、現在、提案内容を検討しているところです。生まれた提案と、クライアントへの報告課程が、森林公共人材専攻の「卒業研究」となります。

7月9日、京丹波町役場を訪ね、企画財政課の担当者にインタビューを行いました。学生が目下、提案として考える「木質バイオマスの利用」や「子どもたちへの木育」について、町の取組状況や担当者の思いを聞きました。

今年は、まずICTを理解するところから始まり、飛躍的に改善される将来社会をイメージしながら提案をつくることになり、なかなかの難題になりそうですが、専攻生の健闘を祈ります。



公共専攻

企画財政課担当者へのインタビュー(京丹波町役場)

2021/07/09

オープンキャンパス2021 & 学校説明会を開催します

『オープンキャンパス2021』

毎年夏に開催しているオープンキャンパスを今年度も実施します。多くの参加者をお待ちしております。

日時：令和3年7月31日(土)午前・午後の二回

内容：林業大学の紹介、高性能林業機械操作体験、個別相談コーナーなど

『学校説明会』

オープンキャンパスに参加できなかった方のために、学校説明会を8月の各土曜日に開催します。

①8月7日(土) ②8月14日(土)

③8月21日(土) ④8月28日(土)

の各回10:00~12:00

※事前に申し込みが必要となります。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、日時・内容を変更する場合があります。詳しくは林業大学のHPでお知らせします。

今月の授業参観

『鳥獣被害対策』

平成29年から設置を始めた鳥獣被害防護柵が、この6月によろやく完成いたしました。

防護柵は、府立須知高校敷地内の特にシカの食害が深刻な畑地を金網柵で囲うように設置し、車や人の通路部分にはそれぞれ門扉を設けています。

ほとんどの学生にとって慣れない作業でしたが、獣に破壊されないように支柱を深く打ち込み、地際からの侵入を防ぐために金網をアンカーで固定するなど、暑い中でも懸命に取り組んでいました。



手分けしてアンカーを打つ10期生



校長室より

自然を尊敬できる人ってどんな人？

校長 森 敦司

本校は、「自然を尊敬できる人を育てたい」を教育理念に掲げております。昨年度から本校に赴任してきて、学生や保護者などから何度か「自然を尊敬できる人ってどんな人？」という質問を受けました。そこで今回は、本校の原点であります「自然を尊敬できる人」について、お話ししたいと思います。

まず、自然とは何か。これがまた実に幅が広く奥が深いのですが、ここで言う自然とは、「山川・草木・海など、人類がそこで生まれ、生活してきた場。特に、人が自分たちの生活の便宜からの改造の手を加えていないもの。また、人類の力を超えた力を示す森羅万象」（「広辞苑」より）を指しております。

本校では、この自然のうち、山（森林）に関する事、例えば、樹木に関する事、水を蓄えることや土砂崩れ防止など森林の公益的機能に関する事、木材の利用やそれにまつわる建築・文化など、ありとあらゆる森林に関する事を教えることとしております。

これにより、自然の中で森林の果たす役割や仕組みを理解し、そのことで自然界全体の法則（摂理）に気づき、その偉大さを知るきっかけを作りたいと考えております。ただ単に「山が好き」とか「自然が好き」というものだけではなく、自然というものの摂理の偉大さを理解し、そのことを尊敬して、活用できる人材を育てたいと考えております。

昨今、SDGsという言葉をよく見聞きします。これは国連で採択された持続可能な開発目標で、わかりやすく言うと、私たちみんなが、一つしかないこの地球で暮らし続けられるために、地球環境や自然環境が適切に保全され、持続可能な世界を実現するために示した道案内であります。まさに本校が育てたい「自然を尊敬できる人」こそ、このSDGsに最も寄与することのできる人材であると考えております。